

特許紹介

研究企画部 知的財産グループ

1 特許の紹介について

発明の名称

浮屋根式タンクの洗浄方法

登録番号

特許第3385493号

本発明は、洗浄時の不活性ガスの使用量を低減できて、洗浄時のタンク外への可燃性ガスの漏洩を防止できる浮屋根式タンクの洗浄方法を提供することを目的としています。

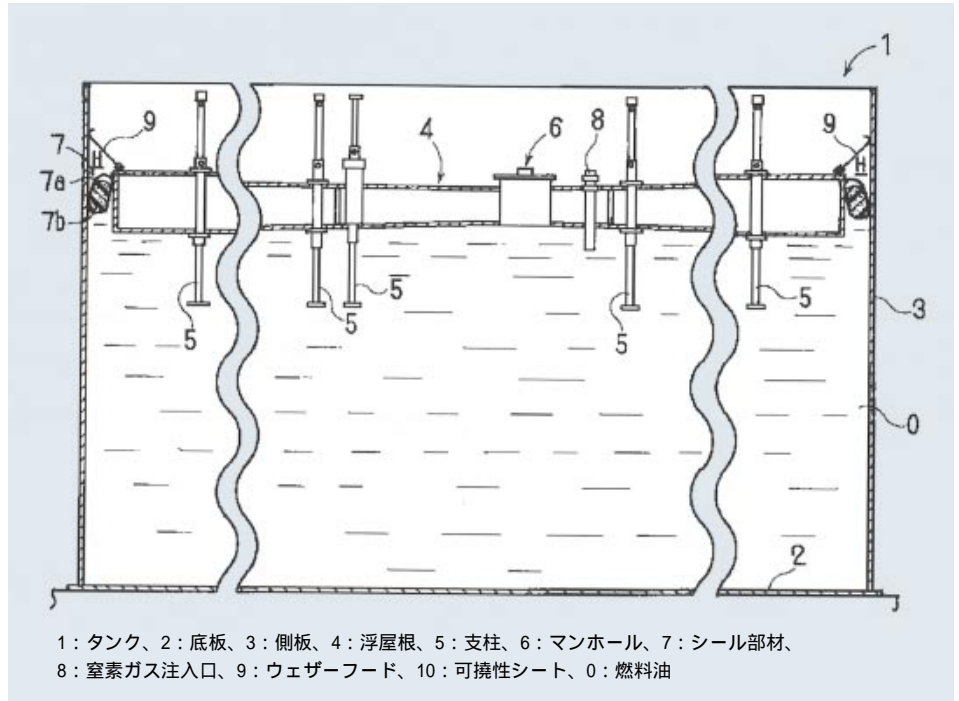
発明の概要

本発明に係る洗浄方法は、揮発性を有した可燃性の液体を貯溜する石油タンク等の浮屋根式タンクの点検前にタンク内を洗浄する際の方法に関するものです。

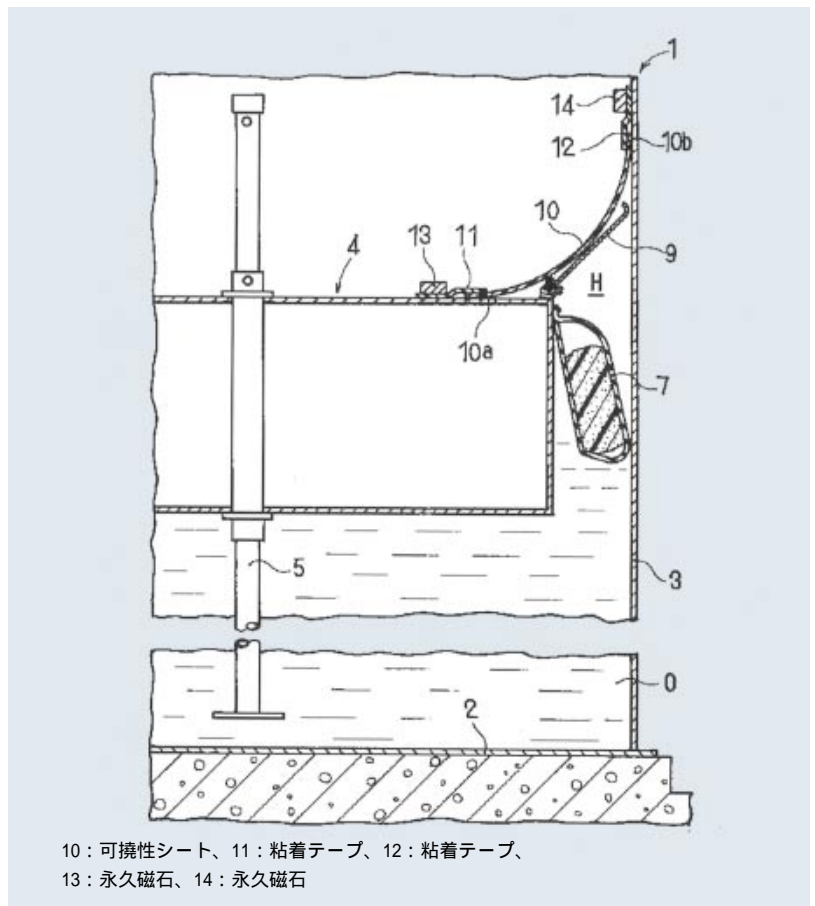
タンクの底板、その底板の外周縁から上方へ延びる筒状の側板、及び、その側板の内周側に配置される浮屋根、により囲まれた部位を貯蔵部位として、洗浄時に、内部に不活性ガスを注入して内周面を洗浄する浮屋根式タンクの洗浄方法です。

浮屋根上面側における浮屋根外周縁と側板内周面との隙間を可撓性シートで覆い、その可撓性シートの両縁を、それぞれ、浮屋根上面側と側板内周面側とに粘着テープで止め、さらに側板に対して吸着可能な磁石を配置させて押え、その後、内部に不活性ガスを注入して内周面を洗浄することを特徴としています（第2図参照）。粘着テープのみだと付着油分によりはがれる可能性があるため、磁石を使用したところに工夫のポイントがあります。

洗浄後においても可撓性シートを粘着テープおよび磁石を利用して貼着しておけば、浮屋根外周縁と側板との隙間を可撓性シートで塞いでおくことができることから、洗浄中のみならず、点検中にも、タンク内への雨水の侵入を防ぐことができ、タンク内部での作業も円滑に行うことができます。



第1図 実施例のタンクの断面図



第2図 実施例の作業中の部分拡大図

2 設定登録を受けた特許等（平成15年1月～2月）の紹介

以下に掲載いたしました特許に関するお問い合わせ等は、研究企画部知的財産グループにお願いします。

種別	登録番号	登録年月日	発明等の名称	当社発明者	共有権利者	当社技術主管部署
特許	3385493	2003/1/10	浮屋根式タンクの洗浄方法	村上 慶喜 渾川 忠 神谷 正博 安井 稔		火力部 技術グループ
特許	3386966	2003/1/10	架空送電線の事故検出位置 標定システム	遠藤 晴夫 村松 正明 森下 能康 大谷 康幸 太田 泰司 荒木 邦行 高瀬英一郎 中田 滋男	日立電線(株)	工務部 技術開発グループ
特許	3387941	2003/1/10	多段水力機械	下村 博明 白木 清隆 梅田 貞一	(株)東芝	工務部 発電電グループ
特許	3389450	2003/1/17	防護管挿入・撤去装置	安藤 恭数	(株)アイチコーポレーション	配電部 技術グループ
特許	3392299	2003/1/24	CVD用原料溶液気化装置	長屋 重夫 下之園隆明	(株)フジクラ	電力技術研究所 電力ネットワークグループ 超電導・新素材チーム
特許	3392732	2003/1/24	水車および水車の補助羽根 車の負荷分担率の決定方法	浅井 靖史 佐橋 幹雄	三菱重工業(株)	工務部 発電電グループ
特許	3396593	2003/2/7	プラトニウムダストモニタ 用半導体線検出素子及び その製造方法		中国電力(株) 北海道電力(株) 東北電力(株) 東京電力(株) 北陸電力(株) 関西電力(株) 四国電力(株) 九州電力(株) 日本原子力発電(株) 日本原燃(株) 富士電機(株)	電力技術研究所 原子力・材料グループ 原子力チーム
特許	3400895	2003/2/21	強化プラスチックを芯体と する碍子	近藤 泰吉 佐藤 彰芳 中村 覚	日本碍子(株)	配電部 技術グループ



執筆者/片桐敏雄
Katagiri.Toshio@chuden.co.jp

編集部便り

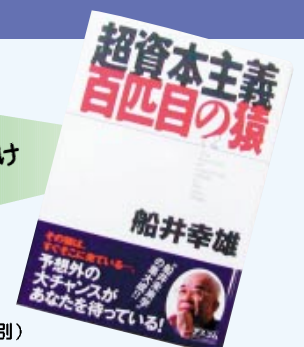
書籍紹介

「超資本主義 百匹目の猿」

著者：船井 幸雄 出版社：アスコム

2005年に愛知万博が開催されます。東海地方を基点に行われるこの万博は、21世紀を象徴する「地球環境」をテーマとしています。この本は、これからの時代の中心は農業であるとし、環境や健康に関する本物の技術を数多く紹介しています。これからの技術開発の方向性を示す数少ない本と思います。

経営者向け



定価：1,700円（消費税別）